

## 第6回 11月8日(火)

### 「アストゥリアス語」

講師：黒澤 直俊 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

アストゥリアス語 *asturianu* は、スペイン北端のアストゥリアス自治州を中心に40万人程度の人々によって話されている言語です。スペインは多言語国家で、スペイン語の他にガリシア語やカタロニア語、バスク語が地域公用語に指定されていますが、アストゥリアス語は、自治州の保護対象言語とされているだけで公用語としてはまだ認められていません。1980年代以降アストゥリアス言語アカデミーを中心に文法書や辞書の編纂とともに、規範の整備が進められ、公用語化を要求する動きがあります。

系統的には、ガリシア・ポルトガル語とスペイン語の中間に位置するアストゥリアス・レオン語のグループに分類されるロマンス語で、中世において文語形成が進められなかったことや、国家的背景を欠いていたため規範化が行われなかったことで、方言特徴の分布が、現在でもおそらくイベリア半島の初期のロマンス語の状態を比較的良く反映していると考えられ、歴史言語学的にはきわめて興味深い言語です。また、近年の公用語化の要求に伴う、言語整備の動きは社会言語学的にも面白い題材を提供していると言ってもよいでしょう。このグループの言語は、アストゥリアス語の他に、カスティーリャ・レオン州のレオン語、ポルトガル東北端地域のミランダ語が残っています。講義では、アストゥリアス語の現状、方言分布、歴史的背景、言語特徴、言語文化、地域文化などについて順次概説して行く予定です。